



なぜ  
風は、どうしてふくの

くうき おんど  
空気の温度のちがい

ちひよう たいよう て あたた ちひよう くうき あたた  
地表が太陽に照らされて暖められると、その地表にせっしている空気は、暖められてふ  
かる じょうしょう うえ そら うえ ひ  
くらみ、軽くなって上昇（上にのぼる）します。そのあとに、空の上のほうで冷やされて  
ちぢ おも くうき  
縮んで、重くなった空気がおりにてきます。

くうき なが  
空気の流れができる

あたた かる くうき じょうしょう ひ さゆう ひろ  
暖められて軽くなった空気は、上昇するにつれて冷やされ、左右に広がっていきます。  
じょうしょう くうき つぎつぎ くうき なが じょうこう  
上昇した空気の後には、まわりから、次々と空気が流れこんできます。そして、上空で  
ひ おも くうき  
冷やされて、重くなった空気がおりにてきます。

くうき おんど じょうげ うご じょうこう  
このように、空気の温度のちがいによって、空気は上下に動きます。それにつれて、上空  
くうき ちひようちか くうき よこ うご お くうき なが かせ  
の空気と地表近くの空気は、横に動きます。こうして起きた空気の流れて、風がふくのです。  
(監修・村山 貢司)

